





フライングディスク競技の様子

CONTENTS

『つながれボランティアの輪』推進運動

- ③) しあわせ元気国体・元気大会応援企画
 - ◆障スポ大会競技紹介(フライングディスク)
- 4,5P社協TOPICS
 - ◆保育士のキャリアアップ研修開催決定!!
 - ◆「ちょこっと就労」に参加する施設を募集します
- ⑥ ◆こちら経営相談室

- ဢ ◆まごころ基金助成事業助成団体が決定
 - ◆シニアチャレンジ応援

助成事業助成団体が決定

- ◆子ども食堂への助成決定
- ❸♪ ◆寄付・寄贈
 - ◆サキドリ情報
- 別紙 平成30年度事業報告・決算の概要







~県民をつなぐ「おかげさま」と 80万人のボランティアの輪『つながれ! 「お互いさま」の輪~

きな役割があります。 心の深まりとつながりを再構築する大 支え合いの心を育み、地域社会への関 ボランティア活動には、思いやりと

的に、今年も「『つながれボランティ 民の「つながり」や支え合う社会の「価 アの輪』推進運動」を実施します。 の推進とボランティア活動を通じた県 県内におけるボランティア活動の一層 まちづくり等多分野に及んでいます。 動範囲も広く、青少年育成や環境保全、 県民の意識が全国的にも高く、その活 福井県ボランティアセンターでは、 本県は、ボランティア活動に対する や「豊かさ」を共感することを目

(推進項目)

- 1ボランティアについて知り、 かけづくり ティア活動を体験するための ボラン (きっ
- ②ボランティア活動の楽しさややりが いを感じてもらう〔機会づくり〕
- 3ボランティア活動の価値や気づきを 共有する〔場づくり

【夏休みにボランティアしよう!】 サマーボランティア体験

を実施します。 として、『サマーボランティア体験』 して実感し、その後の活動を促す契機 こでも・誰にでも」取り組めるものと ボランティア活動を「いつでも・ど

ることができます。 興味・関心のある活動を選んで体験す 動など、豊富な活動メニューの中から 福祉施設でのお手伝いや環境保全活

加ください。 い」という方も、この機会にぜひご参 ボランティア活動をしたことがな

期 間

7月21日出~10月31日休

(対象者)

動に関心のある方 小学生高学年以上でボランティア活

【活動メニュー】

- ●福祉施設等での利用者の介護、 等の体験 介助
- ❷福祉施設等の利用者との交流、 リエーションの手伝い レク
- 4NPOやボランティア ❸施設行事や地域で実施されるイベン ト等の運営協力

グループが行う活動へ

動プログラム(冊子)に添付された参 ティアセンターまたは、 加申込書にご記入の上、 学校や関係機関団体等に配布する活 福井県ボラン お住まいの







ボランティア作文コンクールが「ボランティアについて考えよう!」

ページでも紹介します。 福井県ボランティアセンターのホーム 児童・生徒や県民から、ボランティア に関する作文を募集します。 ボランティア体験」等を通じて気づい に福井県社会福祉大会で表彰するほか たこと、考えたことをふり返り、活動 への理解と参加を促す取組みとして、 普段のボランティア活動や「サマー コンクール入賞作品は、10月27日出

(テーマ)

2ボランティアにつ 1ボランティア活動 と・感じたこと の経験から得たこ いての自分の思い



作品の募集期間

【表彰式】 6月~9月(募集締切 9月7日金

10月27日出、 県生活学習館

ふく福しあわせ体験フェアと【障スポ応援イベント】

者スポーツ大会)の開催を機に、障が の人が共生する社会づくりを考える い(者)への理解を深め、地域ですべて フェアを開催します。 『福井しあわせ元気大会』(全国障害

日 時

7月28日(土) 13時30分~16

会

福井市にぎわい交流施設 ハピリンホール 3 階

・ステージイベント

「花いっぱい運動」 〔県内のダンスグループによる 「はぴねすダンス」の披露

パネット)」(事務局 県社協) に加盟す 育てた花の苗を、「福井県企業等ボラ ンティア・社会貢献連絡会(通称/F 小学校と特別支援学校の子どもたちが この「花いっぱい運動」は、県内の 花苗引渡しセレモニー」

まで育て、市内各地に設置することで、 県外から訪れる選手団およびその関係 組みです。 障害者スポーツ大会の機運を高める取 者に歓迎の意を表すとともに、国体や る企業・団体が受取り、大会開催期間

場を花いっぱいにしてみませんか。 を無料配布します。皆様もご自宅や職 イベント当日は、来場者にも花の種

〔障がい者ミニサポート体験〕

- 車いすの押し方や介助方法
- 視覚障害者へのガイドヘルプ 簡単なあいさつなどの手話講座
- 援の方法を学ぶことができます。 障がいのある方に対しての介助や支

〔障がい者スポーツ体験

・フライングディスク

の理解を深めましょう。 プレーできます。これらのスポーツを 障がいの有無や年齢を問わず誰でも 卓球バレー みんなで一緒に楽しみ、 障がい



「福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会」応援企画

全国障害者スポーツ大会の競技紹介

第

(正式競技)

一人でも多く 楽しむ喜びをく

には、「福井しあわせ元気大会(第 催されます。開幕までのカウントダ 18回全国障害者スポーツ大会)が開 民体育大会)」が、10月13日~15日 ウンとともに、県内はいよいよ大会 一色になってきました。 福井しあわせ元気国体 今年の9月29日~10月9日には、 (第73回国

がい・知的障がいの選手が出場する 「フライングディスク」をご紹介し 今回は、正式競技として、身体障

スタンス」があります。 技で、円形ゴールをねらう「アキュ チック製のディスクを投げて競う競 ラシー」と、飛んだ距離を競う「ディ フライングディスクは、 プラス

です。

とで楽しさも倍増します。

徴、真っ直ぐに飛ばすコツを知るこ

緒に競技することも大きな特徴で

また、いろいろな障がいの方が一

行います。標的となる円形ゴールを 通過した枚数を競います。 めがけディスクを10回投げ、 での距離が5mと7mの2種目があ 「アキュラシー」とは、ゴール

くへ飛んだ距離を競う種目です。 行い、ディスクを3回投げ、最も遠 位と座位の4区分に分かれて競技を 「ディスタンス」は、男女別に立 障がいや男女の区別なく競技を 内側を ま

そして、一投ごとにゴールを通過し

が音源でゴールの位置を伝えます。 ラシー」ではゴールの後方の審判員 す。視覚障がい者の場合、「アキュ

どの方向にどのくらい外れたかを同 たか、また、通過しなかった場合は

行者または審判員が伝え、



6/10に行われたプレ大会の様子。

本大会に向けて、約250名の方が 参加しました。

どこでもプレーすることができるた め、非常に取り組みやすいスポーツ いつでも・だれでも・どこでも ディスクの握り方や飛行の特 ディスク1枚あれば

この競技を 多くの方に 話されてい いたい」と 知ってもら ルとして、

福井しあわせ元気大会正式競

期日:平成30年10月13日(土)~

場所:三国運動公園陸上競技場

※選手約420名、審判約120名、 ボランティア約220名が参加予定 します。 いの方たちとも一緒にできるように

そうです。 要不可欠」と話します。他の競技と には審判やボランティアの協力が必 は選手の安全と楽しむ姿。そのため 害者スポーツ大会で一番大切なこと 協会の中村和己理事長は、「全国障 の協会からも審判を要請し実施する 比べると、出場者が多いため、他県 福井県障害者フライングディスク

1つのツ1 障がいに対する理解を広めるための 別関係なく誰でもプレーができる。 ングディスクは、特別な決まりがな く単純なルールなので、障がいの種 さらに、中村理事長は、「フライ

人工芝グラウンド(坂井市)



保育士等キャリアアップ研修開催決定!!

福井県社会福祉協議会(県社協)では平成30年度から福井県の委託を受け、保育士・保育教諭の専門性の向上、キャリアパスの構築に向けた「保育士等キャリアアップ研修」を実施します。

【保育士等キャリアアップ研修とは?】

保育現場においてリーダー的な役割が期待される保育士を対象に、国が示すガイドラインに則り、質の高い研修を通じた資質向上を図ることを目的とした研修です。研修分野は8分野で、平成29年度から実施されている処遇改善加算 II の要件として、今後この研修の受講が課されることになりました。発令される役職に応じて1分野

から4分野の研修受講が必要です。県 社協では今年度、全分野の研修を実施 します。(定員あり)

【受講対象となる方】

専門分野別研修

●経験年数概ね3年以上の保育士等

マネジメント研修

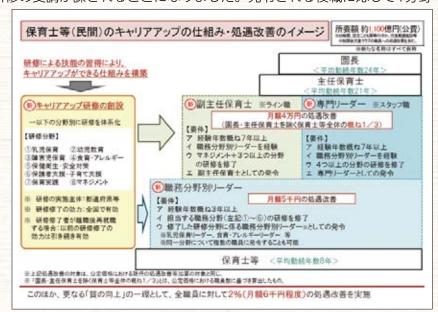
経験年数概ね7年以上の保育士等※園長、主任保育士は除きます。

保育実践研修

新任保育士、潜在保育士等

右図

平成29年2月24日 厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課 「保育士のキャリアアップの仕組みの構築と処遇 改善について」より抜粋



平成30年度保育士等キャリアアップ研修 年間計画

【平成30年度の年間計画】

- 1分野につき、3日間(15時間程度)の研修です。
- 会場は福井市内を予定しており、2回開催予定の乳児保育、幼児教育は敦賀市内で開催します。
- 障害児保育研修を皮切り に、詳細が決定次第、順 次案内いたします。
- 対象園への郵送でのご案 内のほか、県社協のホー ムページにUPしますの でご確認ください。



【お問合せ先】

●専門分野別研修(6分野)

No.		内 容	開催時期		日数·時間	定員	テキスト	受講料
1	乳児保育	・乳児保育の意義 ・乳児保育の環境 ・乳児への適切な関わり ・乳児への適切な関わり ・乳児の発達に応じた保育内容 ・乳児保育の指導計画、記録及び評価	調整中	調整中	3日間 (15時間 程度)	1回目 90名(福井開催) 2回目 50名(敦賀開催)	保育士等キャリアアップ 研修テキスト 1乳児保育(中央法規) 定価 1,512円(税込)	4,000円 (テキスト代別)
2	幼児教育	・幼児教育の隠義・幼児教育の環境・幼児の発達に応じた保育内容・幼児教育の指導計画、記録及び評価・小学校との接続	調整中	調整中	3日間 (15時間 程度)	1回目 90名(福井開催) 2回目 50名(敦賀開催)	保育士等キャリアアップ 研修テキスト 2幼児教育(中央法規) 定価 1,512円(税込)	4,000円 (テキスト代別)
3	障害児保育	障害の理解障害児保育の環境障害児の発達の援助っ家庭及び関係機関との連携障害児保育の指導計画、記録及び評価	6月28日休 7月18日秋 7月30日月	福井県 産業会館 本館展示場	3日間 (15時間 程度)	90名	保育士等キャリアアップ 研修テキスト 3障害児保育(中央法規) 定価 1,512円(税込)	4,000円 (テキスト代別)
	食育・ アレルギー対応	 栄養に関する基礎知識 食育計画の作成と活用 アレルギー疾患の理解 保育所における食事の提供ガイドライン 保育所におけるアレルギー対応ガイドライン 	調整中	調整中	3日間 (15時間 程度)	90名	保育士等キャリアアップ 研修テキスト 4食育・アレルギー対応 (中央法規) 定価 1,512円(税込)	4,000円 (テキスト代別)
5	保健衛生・ 安全対策	・保健計画の作成と活用 ・事故防止及び健康安全管理 ・保育所における感染症対策ガイドライン ・保育の場において血液を介して感染する 病気を防止するためのガイドライン ・教育・保育施設等における事故防止及び 事故発生時の対応のためのガイドライン	調整中	調整中	3日間 (15時間 程度)	90名	保育士等キャリアアップ 研修テキスト 5保健衛生・安全対策 (中央法規) 定価 1,512円(税込)	4,000円 (テキスト代別)
6	保護者支援・ 子育て支援	 保護者支援・子育て支援の意義 保護者に対する相談援助 地域における子育て支援 虐待予防 関係機関との連携、地域資源の活用 	調整中	調整中	3日間 (15時間 程度)	90名	保育士等キャリアアップ 研修テキスト 6保護者支援・子育て支援 (中央法規) 定価 1,512円(税込)	4,000円 (テキスト代別)

●マネジメント研修(対象:副主任保育士の発令を受けた保育士は必須)

No.		内容	開催時期		日数·時間	定員	テキスト	受講料	
7	マネジメント	マネジメントの理解リーダーシップ組織目標の設定人材育成・ ●きゃすい環接づくり	調整中	調整中	3日間 (15時間 程度)	90名	保育士等キャリアアップ 研修テキスト 7マネジメント(中央法規) 定価 1,512円(税込)	4,000円 (テキスト代別)	

●保育実践研修

No.		野	内 容	開催時期	会 場	日数・時間	定員	テキスト	受講料	
8	保育	実践	 保育における環境構成 子どもとの関わり方 身体を使った遊び 言葉・音楽を使った遊び 物を使った遊び 	調整中	調整中	3日間 (15時間 程度)	90名		調整中	

平成30年度

ちょこっと就労参加施設

元気な高齢者が個々の生活スタイルや健康状態に合わせ、介護職員の補助を行う短時間就労を「ちょこっ と就労しと名付け、就労を希望する高齢者と高齢者の採用を希望する介護施設のマッチングを図る事業で、 現在その参加施設を追加で募集しています。 現在/32施設(23法人)が参加

(参加対象の介護サービス)

- ●訪問介護 ②訪問入浴介護 ③通所介護(地域密着型、認知症対応型含む) ④通所リハビリテーション
- ⑤短期入所生活介護 ⑥短期入所療養介護 ◎特定施設入居者生活介護 ⑧介護老人福祉施設
- ①介護老人保健施設⑩介護療養型医療施設⑪定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- ⑩小規模多機能型居宅介護(看護含む) เ₺地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
- ❷認知症対応型共同生活介護 ❸夜間対応型訪問介護 ❸介護医療院

募集期限 平成30年10月31日(水)

申込方法 所定の申込様式に必要事項を記入のうえ本会あて郵送

ちょこっと就労導入を検討している施設必見!!

◆◇◆◇◆◇介護未経験「高齢者活用のための環境整備研修」参加者募集

専門職が専門的な業務に専念できるよう専門性を必要としない業務での高齢者の活用につい て、昨年度のちょこっと就労の成果報告を踏まえながら、法令や年金制度、助成金などの注 意すべき事項について学びます。

開催日時 平成30年7月20日(金) 14:00~15:30

会 場 武生商工会議所 4階 パレットC (越前市塚町101番地)

参加費)無料

申込方法
所定の申込様式に必要事項を記入のうえ本会あてFAX

◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇ちょこっと就労就職説明会の開催◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇

内 容 短時間の就労を希望する方と短時間の就労者の雇用を希望する介護施設を地域毎に集めて マッチングを行う。

参加要件 ちょこっと就労の参加申込を行い承認を受ける。

開催日程

No.	地区	開催場所	開催日	時間	施設所在	参加施設(予定)
1	奥越	勝山市市民交流センター 第1・2会議室 (勝山市片瀬町)	7/23(月)		勝山市	さくら荘、さつき苑
2	福井	福井県社会福祉センター 第1・2研修室	7/24(火)		福井市	あさくら苑、福井リハビリテーション病院、文珠苑、 リベルテ竜郷-大宮-
		(福井市光陽2丁目)			永平寺町	ひかり苑
		115. 115.1 7		13:30~	敦賀市	渓山荘、第2渓山荘ぽっぽ、第3渓山荘あおぞら
3	嶺南	サン・サンホーム 多目的ホール	7/25(x)	15:30	小 浜 市	デイサービスたぶの木
3	祺闬	ジロリハール (小浜市遠敷)			若狭町	デイサービスセンターわらく、訪問介護事業所わらく
		(小八八八八八座方)			おおい町	楊梅苑
		サンドーム福井			鯖江市	かがやき、五岳園
4	丹南	201・202号室	7/26休)		越前町	アクティブケア一宮崎、海楽園
		(越前市瓜生町)			南越前町	シルバーケア日野

※坂井市・あわら市は6月26日(水)に開催しました。

※各々の申込様式 は 『県社協 ちょこっと就労参加』 検索 で検索してください。

人材研修課 人材グループ(福井県福祉人材センター)

☎ 0776-21-2294 FAX 0776-24-4187 E-mail jinzai-center@f-shakyo.or.jp

②U=る こちら経営相談室です!



~私立保育所における【弾力運用】について~

平成29年4月に発出された、「子ども・子育て支援法附則第6条の規程による私立保育所に対する委託費の経理等について」の一部改正についてにおいては、①前期末支払資金残高を充当できる公益事業の範囲の拡大や②公益事業に充当できる上限の撤廃がもりこまれました。要件の変更も含め、以下のチェックリストでご自身の保育園の状況を確認してみましょう。

弾力運用が認められる内容確認 (その1)

弾力運用は、保育所ごとの運営状況により段階的に認められています。

- (1) 保育所ごとの運営状況から弾力運用要件 (要件1から3) の充足状況を確認することからスタート。
- (2) 要件の充足状況より、弾力運用の段階(第1段階から第4段階)を確認。 弾力運用のステップ第1段階から、順次条件をクリアし第4段階まで進むことができます。
 - 第1段階 ・委託費 (人件費・管理費・事業費) の資金使途制限の緩和

第2段階

・処遇改善加算の基礎部分の加算相当額について同一法人の 保育所等への繰入れ緩和

第3段階

- 処遇改善加算の繰入対象先の緩和及び、委託費から(保育 所等・子育て支援事業)への繰入緩和
- 第4段階 ・前期末支払資金残高の取扱緩和

【委託費運用の基本】

私立保育所に支払われている委託費の使用は、支給費目ごと に、定められています。

委託費の 使途の原則

٠,	たのり1	していまり。			
吏 金削艮	人件費	保育所に属する職員の給与、賃金等保育所運営にお ける職員処遇に必要な一切の経費に支出されるもの			
	管理費 物件費・旅費等保育所の運営に必要な経費に支 れるもの				
	事業費 出されるもの				

◆弾力運用の要件(条件) の確認

※下記のチェック項目毎に、適合項目に【〇印】を記し、要件の充足を判 まする

		AE & T)
	保育事業の要件 (<mark>全てを満たせば</mark> 弾力運用が認められる第一ステップです)	チェック
	①児童福祉法第45号第1項の基準(<u>最低基準</u>)が遵守されているか。	
基	② <u>委託費交付基準</u> 及び職員の配置基準が遵守されているか。	
基 要本 7 1	③給与規程の整備、規程による適正給与水準が維持されているか。	
1項目	④給食の栄養量が確保され、嗜好を生かされているか。	
	⑤保育所保育指針を踏まえ、設備整備がなされ、児童処遇が 適切である。	
	⑥運営・経営責任者である役職員の資質向上に努める。	
	⑦当該設置者の事業運営に問題事由なし。	

別表1	特別保育事業の実施状況 (下記要件の <mark>いずれかを実施</mark> している。)	チェック
	①「延長保育事業の実施について」に定める事業及び同様事業	
	②「一時預かり事業の実施について」に定める事業 (一時保育促進事業を含む)	
	③乳児を3人以上受け入れ(低年齢児童の積極受入れ)	
要件2	④「地域子育て支援拠点事業の実施について」に定める事業 及び同様事業	
2 管	⑤特別児童扶養手当の支給対象児の受入れ	
	⑥「家庭支援推進保育事業の実施について」の定める事業及 び同様事業	
	⑦休日保育加算の対象施設	
	⑧「病児保育事業の実施について」に定める事業及び同様事業	

+	【要件2】を満たし、保育サービスの質の向上に関する①から ・ ③の <mark>要件も満たす</mark> 。	チェック
要件。	①厚労省令第79号及び児発第295号にに基づく財務諸表の備え付け、閲覧に供する。	
3		
Ī	③処遇改善加算の 賃金改善要件 (キャリアパス要件も含む。) のいずれも満たしている。	

◆弾力運用の第1段階 【条件】要件1の条件が満たされる事。

(委託費の費用間流用と積立資産に積立し当該保育所の経費に充てることができる)

当該保育所(限定)の積立可能 当該保育所で経費間の流用可能 積立資産の取崩 人件費 人件費積立資産 当該積立資産の取崩 は積立資産の目的経 経費間 委託費 **委** 管理費 修繕積立資産 費に充当できる。 \mathcal{O} & 但し、【目的外使用】 流用可能 備品購入積立 は行政の事前承認を 事業費 資産 要す。

<処遇改善等加算の基礎分>の弾力運用について

◆ 3	単力運用	の第2段階 【条件】要件1及び要件2の条件が満たさ	れる事。		
5	別表2 資金使途				
		1 保育所等の建物、設備の整備・修繕、環境の改善等に要する経費			
纮品	同一法	(保育所等を経営する事業に必要なものに限る。以下 2及び3において同じ。)			
繰入対象	操入対対象 2及び3において同じ。) 2 保育所等の土地又は建物の賃借料 3 以上の経費に係る借入金(利息部分を含む。)の 償還又は積立のための支出(積立は「保育所施設・ 設備整備積立資産」の勘定科目を使用のこと。				
家					
	4 保育所等を経営する事業に係る租税公課				
		別表2の小計			

◆弾力運用の第3段階【条件】要件1、要件2及び要件3の条件が満たされる事。

▼処遇改善加算の基礎分(以下「改善基礎分」という。)として加算相当額 の節囲内

別表3		資 金 使 途		繰入額(円)
繰入対象	7			
	て	又は 積立 のための支出		
			別表3の小計	
			別表2~3の累計	

▼処遇改善加算の基礎分(以下「改善基礎分」という。)として加算相当額 の範囲内

別表4		資 金 使 途	繰入額(円)
繰	同一注	1 社会福祉施設等の建物、設備の整備・修繕、環境の改善、土地の取得等に要する経費 (社会福祉施設等を経営する事業に必要なものに限る。以下2及び3において同じ。)	
繰入対象	施人	2 社会福祉施設等の土地又は建物の賃借料	
家	社福施設等	3 以上の経費に係る借入金 (利息部分を含む。) の 償還 又は 積立 のための支出	
4 社会福祉施設等		4 社会福祉施設等を経営する事業に係る租税公課	
		別表4の小計	
		別表2~4の累計	

【繰入限度額以内が条件です】

▼処遇改善加算の基礎分として加算相当額が 繰入限度額	円です。
繰入累計額(別表2~4までの合計)は	円となりました。

平成30年度 (第28回) 福井県まごころ基金助成事業助成団体が決定

この事業は、県内の地域福祉を推進することを目的に、さまざまな社会福祉事業や活動に対して助成を行うもので、平成3年以来、延べ937団体に対して、総額1億6千8百万円を超える助成を行ってきました。 今年度は、14団体に合計2,046,000円の助成が決定しました。

(平成30年度(第28回)福井県まごころ基金助成事業助成団体)

区 分	No.	申込団体名	事業名
	1	子ども食堂おひさま	子ども食堂開催事業
(1)こどもの福祉向上を 通じて共生社会づく りを進める事業	2	フレンド金津	子どもと地域住民がつながる「みんなの食堂」で、安心・安全な福祉の まちづくり実施事業
	3	認定特定非営利活動法人 福井県子どもNPOセンター	「困難を抱えた子どもへの理解と支援」講演会開催事業
(2)高齢者の福祉向上を 通じて共生社会づく りを進める事業	4	福井市介護者家族の会	「がんばらない介護それは介護される人にもやさしい介護です」 講演会開催事業
	5	特定非営利活動法人福祉医療等連携交流協会	「活動的な100才をめざそう!心・からだ元気サポート教室」開催事業
	6	特定非営利活動法人福祉ネットこうえん会	「知的障がい者ウィングカップソフトボール大会」開催事業
	7	一般社団法人福井県身体障害者福祉連合会	「福井しあわせ元気大会」オープン競技ゲートボール競技会開催事業
	8	自立生活センターCom-Support-Project	「オープン・コム2018 in サマー」開催事業
(3)障がい者の福祉向上を	9	ハレバレ会	「ミュージックセラピー(音楽療法) 体験」開催事業
通じて共生社会づくり を進める事業	10	特定非営利活動法人越前市障がいスポーツ クラブ	「フライングディスク・ボッチャ出張出前講座」開催事業
2249 0 47%	11	くらふとくらぶ	「発達障がい者のための書道教室」開催事業
	12	きょうされん福井支部	「障害者権利条約を地域のすみずみに活かす」合同実践発表会開催事業
	13	自閉症e-サービス@ふくい	「〜ふくいの自閉症支援の質を高めよう! 〜自閉症支援基礎講座・中級講座」開催事業
(4)地域のつながりやまち づくりを通じて共生社 会づくりを進める事業	14	特定非営利活動法人心に響く文集・編集局	「人命救助=自殺防止活動」安心・安全のまちづくりに関する事業

こども未来支援事業 (子ども食堂への助成) 助成先決定

この事業は、県社協が設置している「松原ふれあい基金を活用して、地域ぐるみで子どもの居場所づくりや食の支援に取り組む「子ども食堂」の立上げ支援を行うものです。

去る6月28日に今年度の助成団体が決 定し、助成金交付式を行いました。

- ●助成内容 「子ども食堂」の開設等費用
- 交 付 先 子ども食堂「桜(さくら)」 (福井市で開設予定)



平成30年度 シニアチャレンジ応援 助成事業助成団体が決定

「シニアチャレンジ応援助成事業」は、シニア世代の方々による生きがいや健康づくり、地域貢献に対する活動に対し、活動にかかる経費を助成するものです。

今年度は「高齢者の生きがい健康づくり活動を通じて認知症予防や生活習慣病予防を図るもの」「若い世代と交流し地域の活性化を図るもの」「スポーツ活動により元気高齢者の介護予防の充実を図るもの」など、12団体に合計2,051,000円の助成が決定しました。

(平成30年度シニアチャレンジ応援助成事業助成団体)

区 分	No.	申込団体名	事業名
	1	舞踊クラブ さつき会	高齢者福祉推進事業
	2	野坂親睦会	生活記録集「平成の野坂」発刊事業
	3	大野シニアチーム 絆	児童センター・介護施設との交流事業
(1)地域 福祉活動	4	ニコニコカフェ	ニコニコカフェ交流事業
	5	丸岡駅 にこにこプロジェクト	丸岡駅にこにこプロジェクト事業
	6	丹生おもちゃ病院	越前町おもちゃの修理会 丹生おもちゃ病院事業
(2)世代間	7	チャレンジ工房宮ノ下	3世代交流で地引網体験と 秘密基地づくり事業
交流活動	8	中番長寿会	世代間交流事業
	9	大平文化伝承の会	大平文化伝承事業
	10	福井楽障クラブ	夏季登山・高地ランニング事業
(3)スポーツ	11	村岡町高齢者連合会	ニュースポーツ体験・交流事業
交流活動	12	スティックリング ゆたか	スティックリング実施事業

寄付包寄贈



♥6月12日(火)

寄付者 西田哲郎氏子供一同 様

寄付金 350,000円

※「西田哲郎チャリティー絵画展」の収益金をご寄付いただきま した。未来を担う子どもたちが、地域の中で安心して過ごせる 場、地域の方々と交流できる居場所づくりの取組みに有効に活 用させていただきます。

贈呈先 福井県社会福祉協議会

♥6月15日(金)

贈呈者 福井県信用金庫協会 様 (福井市)

- 寄付金 ●210,000円 (ワンコイン募金運動基金)
- 使用済み切手 38.7kg (約270,000枚)
- ●書き損じハガキ 14枚

※使用済み切手および書き損じハガキは知的障害者の社会啓発運 動および自立支援、生きがいづくり支援事業を行っている団体 へ送付させていただきます。

贈呈先福井県社会福祉協議会



▲西田哲郎氏子供一同様



FBCラジオ放送講座

「いきいきセミナー」



「いきいきセミナー」は、ラジオ放送を通して、県内外の著名な方々の講話を 聴く講座です。

FBCラジオ 毎週日曜日6:30~7:00放送(再放送:毎週土曜日17:15~17:45) ※パソコン・スマホからもお聴きいただけます。

(専用アプリのダウンロードが必要な場合があります。)





受講生になると、1ヶ月分の講座内容をまとめたテキストがご自宅に届きます。 (テキスト代・郵送料 月額400円)



往復はがき・FAX・メールのいずれかで感想文を提出すると、 その都度返信文が届き、感想文12回以上の提出(年間)で修了 証書が贈られます。



「いきいきセミナー」で、『聴く・読む・書く』を、あなたもはじめてみませんか?

申し込み・問合せ先 地域福祉課 生きがい長寿グループ ☎0776-24-2433



平成29年度 事業•決算報告

本会では、「誰もが 身近な地域で その人らしく 安心して暮らせる 福祉社会の実現」に向け、「第4次ふくい地域福祉プラン21(推進期間:平成27年度~31年度)」に基づき、市町社会福祉協議会、社会福祉施設、福祉関係団体、公的機関等との連携・協働のもと、県民とともに創り上げる地域福祉の実現に向けて、以下の重点項目を基軸にした諸事業を実施した。

重点項目

- 県民の暮らしを守るセーフティネットとそれを支える地域づくり
- ② 福祉・介護と地域を支える人づくり
- 3 社会福祉法人と協働する地域貢献活動の推進

※ 主な事業の概要は以下のとおり。

I 福祉力を育むまちづくり

1 地域で包み支え合う福祉社会を実現する環境づくり

- ◆子ども福祉委員モデル事業 ※平成29~30年度 〔モデル指定地区〕小浜市、坂井市、池田町
- ◆介護実習・普及センター事業
 - ①家庭介護、介護出前講座の実施
 - ②「介護の日(11/11)」イベントの実施
 - ③ 各種イベントでの福祉用具紹介等
 - ④ 高齢者の生活および介護に関する情報提供、相談の実施
- ◆地域ぐるみ福祉教育推進事業の実施
 - ①つながりの輪づくり推進支援事業(市町社協ボランティア 活動推進事業への助成)の実施
 - ②市町社協ボランティアセンター実践研究会の実施
- ◆異世代(高齢者と学生)ホームシェア事業への支援
- ◆「つながれボランティアの輪」推進運動(7~11月)
 - ①サマーボランティア体験事業 (7~9月) の実施
 - ②ボランティア作文コンクールの実施
 - ③福井しあわせ元気大会運営ボランティア研修支援
- ◆災害ボランティア活動への支援
 - ①「1.17神戸希望の灯り」ならびに「3.11希望の灯り」の実施
 - ②北陸3県内社協「災害支援活動合同研修会・リーダー養成プログラム検討会」の開催
 - ③「災害ボランティアセンター運営者研修・福井」の開催
- ◆企業等と連携したボランティア活動の促進
 - ①福井県企業等ボランティア・社会貢献連絡会(Fパネット) への支援
- ◆第64回福井県社会福祉大会の開催
- ◆各種の協賛事業を通じた福祉活動の普及啓発
 - ①第6回ふくいチャリティアート展の開催
- ②福祉サービス車両購入助成事業
- ◆福井県まごころ基金助成事業の実施

2 社協のネットワーク機能を活かした地域福祉の推進

- ◆子ども福祉委員モデル事業(再掲)
- ◆関係機関との連携・協働
 - ①福井県民生委員児童委員協議会の支援および民生委員児 童委員活動との連携(民生委員制度創設100周年記念大会 の開催支援等)
 - ②福井県災害ボランティアセンター連絡会、ふくい県民活動・ ボランティアセンターとの連携
- ◆市町社協との協働
 - ①県市町社協会長会の運営と活動支援
 - ②市町社協課題解決戦略会議(事務局長会議)の開催
 - ③市町社協トップセミナーの開催(大雪のため中止)

- ④社協ワーカー養成研修(基礎、実践力強化)の実施
- ⑤社協ボランティアセンター基幹職員の実践力向上に対する 支援
- ⑥市町社協ステップアップミーティングの開催
- ⑦「社協による地域福祉推進研究会」の設置・運営
- ⑧東海北陸ブロック市区町村社協職員研究集会の開催
- (9)市町社協等が取り組む地域福祉活動への支援

Ⅱ 福祉力を支える人づくり

1 福祉人材の確保・定着とスキルアップへの支援

- ◆介護福祉士等修学資金貸付事業の実施
- ◆保育士修学資金等貸付事業の実施
- ◆介護人材確保定着総合推進事業
 - ①専門員による事業所訪問
 - ②求職相談窓口の設置
 - ③介護施設における高齢者の「ちょこっと就労」促進事業の 宝施
 - ④「福祉·介護の仕事PR隊」の派遣
 - ⑤介護事業所・人材マネジメントセミナーの開催
 - ⑥人材定着のためのワークステージ研修の開催
- ◆福祉人材無料職業紹介事業の実施
- ◆ふくい福祉就職フェア等の実施
 - ①社会福祉施設等採用担当者による個別面談、面接対策講 座等
 - ②福祉事業者の採用力向上研修(人材確保セミナー)の開催
- ③ふくし入門教室の開催
- ④就職内定者応援セミナーの実施
- ⑤学校訪問説明会の開催
- ◆学校訪問·介護職場体験事業
 - ①福祉のしごと訪問説明会、介護事業所見学・職場体験の 実施
 - ②高校生介護職場体験の実施
- ◆福利厚生センター(地方事務局)事業の実施
- ◆福祉職員を対象とした研修事業①生涯研修、専門課題別研修、業種・職種別研修の開催

2 地域を支える地域福祉人材の発掘・養成と活動への支援

- ◆明るい長寿社会づくり推進事業
 - ①「ふくい健康長寿祭2017」の開催
 - ②「第30回全国健康福祉祭あきた大会 |への選手派遣
 - ③広報紙「福悠人」の発行
 - ④ラジオ放送講座[いきいきセミナー]の実施
 - ⑤アクティブ・シニア養成講座の実施

Ⅲ 福祉力を活かすシステムづくり

1 県民一人ひとりの自立した暮らしを守る 新たなセーフティネット体制づくり

- ◆「地域で支えるセーフティネットづくり勉強会」の開催
- ◆生活福祉資金貸付事業の実施
- ◆ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業の実施
- ◆児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業の実施
- ◆子ども未来支援事業の実施
- ◆緊急食糧支援事業の実施
- ◆市町社協設置の法人後見センターとの連携
- ◆福祉サービス苦情解決事業の実施
- ◆日常生活自立支援事業の実施
- ◆高齢者権利擁護推進事業の実施
- ◆成年後見講座(入門編・実践編)の開催

2 社会福祉法人の適正な経営と 地域貢献活動を支える取り組みの強化

- ◆福井県内社会福祉法人連携事業推進協議会設立への支援
- ◆福祉施設経営指導事業の実施(巡回訪問、研修の開催等)
- ◆介護サービス情報の公表事業の実施
- ◆福祉サービス第三者評価事業の実施
- ◆地域密着型サービス外部評価事業
- ◆職場における個人力・チーム力を高めるための実践研修の実施
- ◆保育部会活動の充実(保育研究大会の開催等)
- ◆福祉施設等種別協議会活動への支援(助成等)
- ◆民間社会福祉施設職員退職共済事業の実施

Ⅳ 福祉力を動かす組織づくり

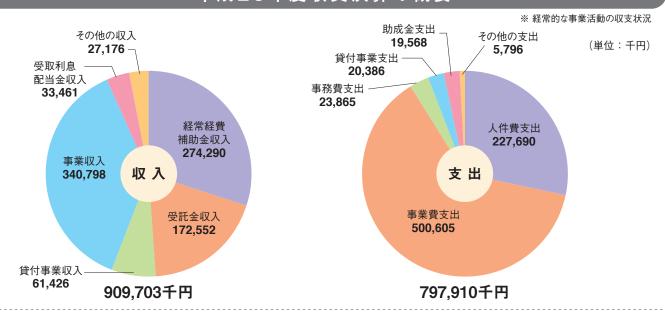
1 災害時に備えた危機管理体制の強化

- ◆社会福祉施設における災害対策支援の実施
 - ①災害に強い福祉施設づくりのための経営者セミナーの開催
- ②福祉施設防災マネジャー養成研修の開催
- ③災害時応援協定に基づく代表者会議、情報伝達訓練等の 実施
- ④北陸3県内社協「災害支援活動合同研修会・リーダー養成プログラム検討会」の開催(再掲)

2 地域福祉を総合的に推進する 福井県社協の組織経営基盤の強化

- ◆役員会等(理事会、評議員会、正副会長会、監事監査)の 開催
- ◆職員の資質・専門性の向上
 - ①職場研修制度に基づく職員のスキルアップ
- ◆職員業務・育成支援システムの運用
- ◆積極的な情報公開と県民等への情報発信機能の強化
 - ①機関紙「ふくい社会福祉」の発行
 - ②「ふくし広報コンテスト2017」の実施
- ◆福井県社会福祉センターの指定管理業務の実施
- ◆各種基金(5基金)の運用

平成29年度収支決算の概要



平成29年度決算による福井県社会福祉協議会の経常的な事業活動のための収支状況について、 その概要(イメージ)をご理解いただくためにグラフとして表現したものです。

平成29年度の苦情受付・解決への取組み

〔対応件数〕2件 ※概要は以下のとおり

No.	分 類	苦 情 内 容	対 応
1	職員の接遇	貸付相談時の対応職員の態度や相談環境に ついて	関係職員に加え、全ての職員に対して丁寧な相談対応を行う よう指導するとともに、相談場所の環境整備を行った。
2	サービスの質や量	事業には直接関係のない事業所の情報を担 当部門以外の職員が知っていたことについて	全ての職員に対し、情報の扱いについては関係法令・規程 等をふまえ、適正に対応するよう注意喚起を行った。